

THE
KANSAI
UNIVERSITY
NEWS

関西大学通信

関西大学広報委員会
大阪府吹田市山手町3丁目



疑問をぶつけよう

学 長 大西昭男



入学おめでとう。

いま、ちんまんと咲き誇っている花の季節のもと、わが関西大学に足どり確かに第一歩を踏んだ諸君こそ、ういういしい若さあふれる花、あの世阿弥のいうところの「時分の花」である。そしていつの日にか「まことの花」となることを私は信じて疑わない。青春は豊穡であるかのようにいて、はかなく移ろいやすいものであることもまた、私は諸君の一人ひとりじゅうぶん承知しておいてもらいたい。色彩あざやかに見えても、困惑と徒勞のうちにあえなく終息する危険をたえずはらんでいる季節なのである。だから私は、諸君という「時分の花」がにわかに色あせて行くことのないよう、切に望む。花のうせぬ人であってほしいと心から願う。

そのために、諸君に何よりもまず期待されるのは、自分自身の問題を持つことである。自分で自分に根気よく宿題を課することである。その試みの道のなかばで、あるいはついに解答を見出せぬまま生を終えることになるかも知れない。だが、そのときでさえ、「まことの花」を咲かすべき真実一路の旅の果てであるならば、何を後悔することがあろう。

現実にあちあちでその有効性を立証された仮説を、プラグマティズムの哲学者ウィリアム・ジェイムズは、live wire（電気のかよっている電線）になぞらえて、live hypothesis（生きた仮説）と名づけている。諸君のうちの誰かにいま私の手を触れるとして、その人がビリリと感電するような「生きた仮説」であると私は信じていたのであるが、果たしてどうであろうか。これから共に学ぼうとしている諸君の一人ひとりを、もし一つ一つの仮説にたとえたとして、どの仮説が事実による検証に耐え抜けるか、私は刮目して待ちたい。と同時に、少なくともどんな仮説にせよ、しよせんは実行によってのみ、その真理たるか否かが決されるということも胆に銘じておいてもらいたい。

諸君の一人ひとりが、「生きた仮説」たらんと欲するならば、すべてを疑ってかかることである。自明の真理、立証済みの真理とされてきたものでさえ、疑ってかかる。人間界や自然界のあらゆる事物に対する率直かつ新鮮な驚きを大切にしながら、疑って疑って疑い抜くことだ。懐疑の念を徹底して押し進めることこそ、学問の初心ではないか。学問の正道ではないか。

わが関西大学では、諸君が在学中にその偉容にまみえることになるであろう新しい総合図書館の建設工事が現在進捗中である。けれども、それがいかに立派な建築物として完成を見たとしても、宝のもちぐされになつては何にもならない。工事の平穩無事を諸君と共に祈念する一方で、むしろ私は、諸君の一人ひとりが、想像力豊かな内なる図書館の樹立にこそむくことを希望する。心中に自らの書斎を持って、胸中に余人のうかがい知れぬ明窓浄机を抱け。そうすれば、やがて諸君が迎え入れる総合図書館には必ずや、諸君自身によって、熱情のこもった清新なる息吹が注ぎこまれるにちがいない。今度の図書館には情報処理センターが併設される。安直なコピー文化なんぞに甘んじることなく、内実のある情報の活用と処理に励むことが肝心である。活力のある知恵の獲得に邁進せよ。明晰な論理の構築に努力せよ。

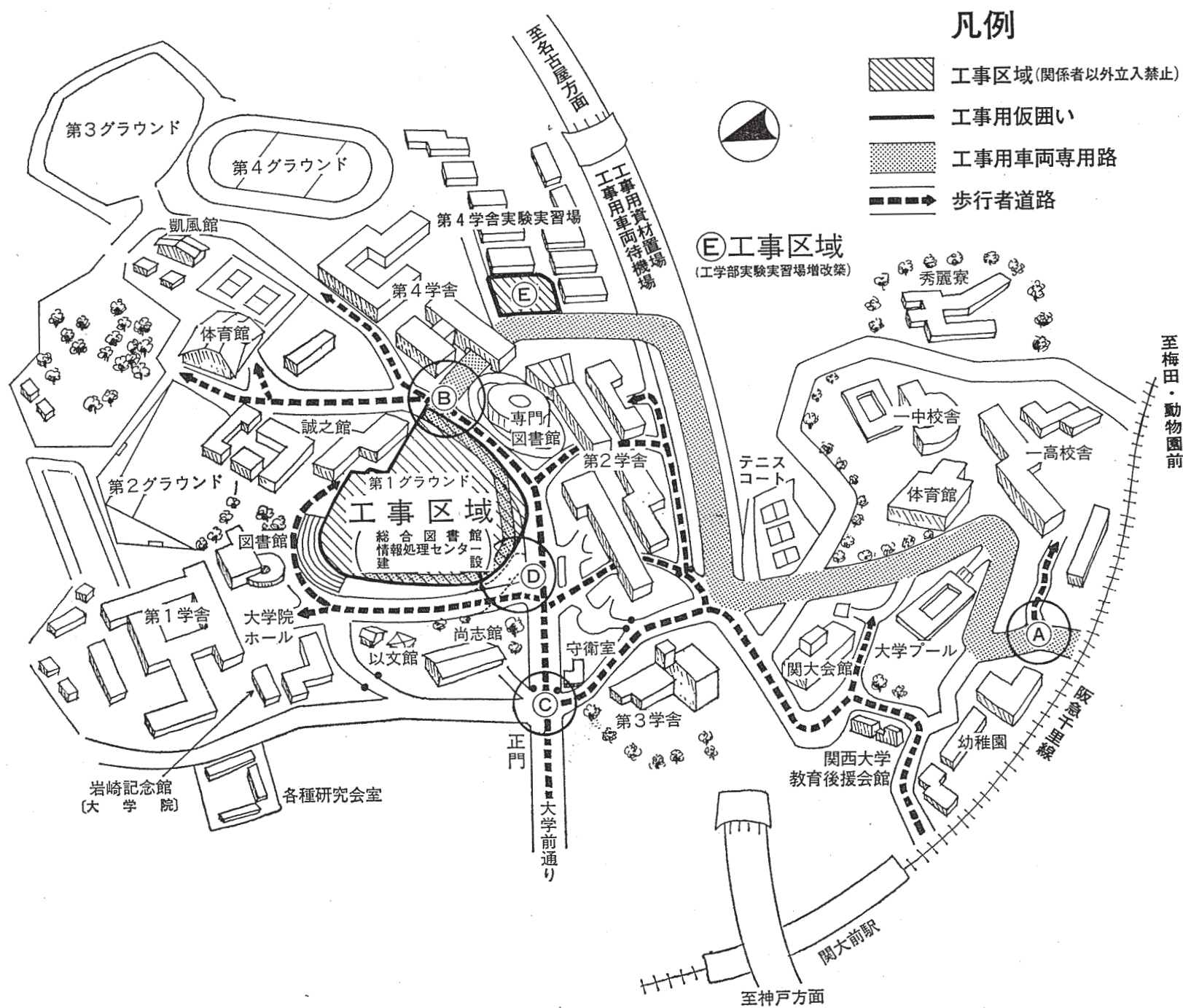
しかるのち、あらゆる事物の真偽を判別することも自ずと可能となろう。有意義な自己発見の喜びが、訪れるであらう。「まことの花」という自己実現の喜びが、もたらされるであらう。そして、そのときこそ、諸君は、自力でかちえた真正の真理に到達することができようであらう。

「この世界を有漏（ウロ）という。人間はウロウロしている。正しい考え、正しい見方をもつてウロウロせんと大道を歩まなはいかん。仏教界の長老で有名な有漏の言葉である。正論である。ちかごろの徹底した受験管理体制のもとでは、ウロウロする余裕もなく、受験一途の努力が実を結んでいるが、これからの新しい大学生活に対する、期待と不安の入り交ったカオスの中に、身を置いている新入生諸君には、力強い教示かも知れない。しかし、何か抵抗を感じる。ウロという字句を辞書に求めると、雨露、迂路、烏路、空虛、有漏等が挙がってくる。問題の有漏は煩惱の中に迷って悟りを開かぬ凡夫の境涯、人間界とあり、反意語は煩惱のない悟りの世界、無漏（ムロ）である。とかく世間では一つの所に腰を据えて、きまつた道をひたすら進む人が「信念の人」として尊敬されるが、紆余曲折して、ウロウロ、あちこちに首をつっこむ人は軽く見られ易い。目的もなウロウロする上には問題もあるが、しかし、ウロウロすることにより、物事の表裏を正しく見分け、実体を真に知ることができると、自然科学の世界でも、学際領域や、エキゾチックな領域をウロウロすることにより、数多くの斬新な先端技術が考案醸成され、注目を浴びている。また、ウロウロと人に交わることは、それ自体がなり面副なわすらしいところであるが、人間は面副さを避けて、自分の狭い殻に閉じこもっている。と、どんな姿態で小さくなっていくものである。われわれ凡人は無漏無漏ムロムロせんと、大いにウロウロしようというのはいささかであるか。(S・N)

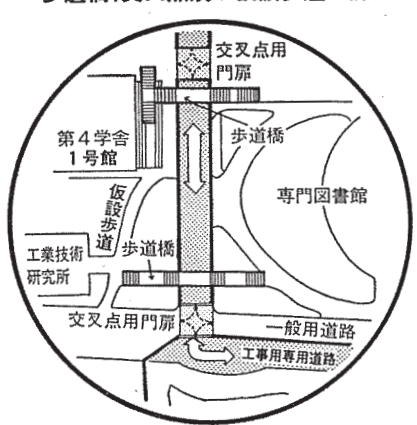
られない。ならば人間はたゞとヘミクスの両面から宇宙との調和に意を配らねない。本コースを聴講するがこのロマンを感じ取るなら講の目的は達成される。

(文学部教授)

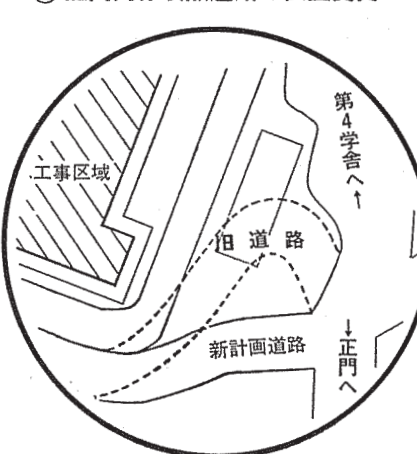
う対策に伴い、安全工事と建設路、建通館者、歩行、合の、総内、新構



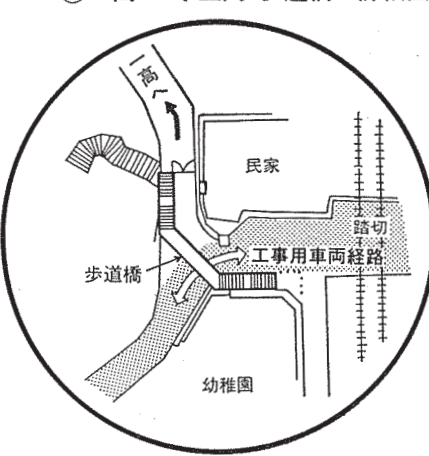
③専門図書館東側
歩道橋、交叉点及び仮設歩道の詳細図



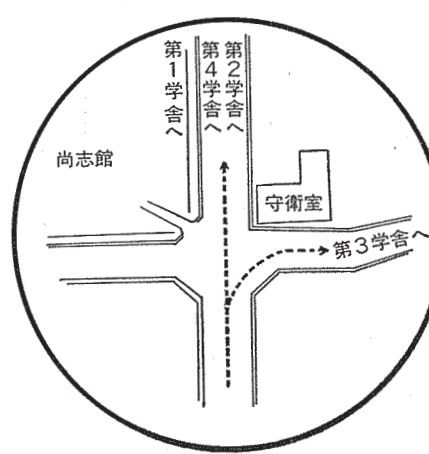
⑤ 正門内分岐点道路の位置変更



④一高・一中正門 歩道橋の詳細図



◎正門附近の詳細図



自動車等による
通学・通勤は
全面禁止
近隣から迷惑駐車・
違法駐車を一掃しよ

違法駐車を一掃しよう！

歩道橋が図のように設置され、工事用車両と通学路とを安全区分、加えて警備員を配置し交通整理に当たる。

工事用車両道路と歩道との間は高さ三メートルの鋼板で仕切り、図の二とく横断歩道橋二カ所、踏切二カ所が設けられ、さらに交通警備員を常時配置して通路の安全を確保する。

圖中「新計画道路」の部分は、付替え工事のため三月二十日より通行禁止となっていたが、三月末に一応完成し、現在は通行可能である。第1學舎方面へは、この新道路を利用された。

山本 冬彦氏



「い」は差別や植民地支配のある「え」は必ず「い」についていふと、被差別者や被支配者に対してべつ視的な意味あいを含めたことばが拾ひせかけられる。また特定のことは、差別的な表現を授け「い」や「え」に用いられる。そして差別撤廃の運動が進んでいなければ、あるいは当事者からの発表がなければ、そのべつ視的な

民族差別とことば

べつ、親の二王が現れた。この問題には今も盛衰が存在している。朝鮮を「鮮」と呼ぶのは、北朝鮮、南朝鮮を「北鮮」、「南鮮」といったり、表行仁に朝鮮を併記する際に「朝」にわす「日鮮」といったりしたのである。

いう差別別的態度の意を以て、植民地支配のため親の二王は二王に假らされてきつてゐて、これに対し當事者である朝鮮人は、体とんな持指ししている。

るのだから、戦前に大府下に在る筆者の知の百朝鮮人々とは、これの二王、

日本に生んでゐるが、太平洋戦争
中の一九四三年頃に「一度朝鮮に
戻つた。當時朝鮮は一日は
戦争にける、朝鮮の独立運動」
と書いては置かれたらしい。こ
ういふことは彼は承へてゐた
から、この朝鮮兵様を知らない
にいわせよう、と主として聞か

山 やま
本 もと
冬 ふゆ
彦 ひこ

つたが、ビラをきてきたわけのA
さんにとっては秋のまがなな
と、拘は二月ををる。
そして拘留 通商目録はんへん
權でなされたもの、目にあつた
が、その義勇隊をたんなる
兵が「起ちまへ、鮮人の 四や
二匹役た」として貶害、蔑で

（本稿では朝鮮民衆は「こゝろ意味で」「朝鮮籍」「韓国籍」のひとを合めて朝鮮人と呼ぶこととする。）

一九二〇年の「日韓併合」以来、三五年間にわたって日本は朝鮮を殖民地にして、そして朝鮮人から土地を奪ひ、低賃金で日本人が働き、強制した日本の軍需工場や戦地に連れて行って、過酷な労働や従軍に強いたりして、彼らを奴隷的の如く扱った。さらに朝鮮の名まえを日本の名まえに替えたりして、朝鮮族の民衆を素直に受け、朝鮮族の使用を禁

これ等の敵愾(てきさい)発端(はつぽん)は自國(みくに)を
行へん。しつとて、これ等は、それ
を容(ゆる)せざるべしと大義(たいぎ)を
叫(こ)び、壓(おさ)へ、ついに死に至(いた)し
める。ともありうのである。

一九〇五年以來(いらい)の日本の朝鮮に
對する偏見(へんけん)配(はい)の間のなかで
も、朝鮮や朝鮮人に対する差別や
民族差別

これ等の二種(しゆしゆ)を、わが國(くに)に
法(はふ)を多(おほ)く設(お)け、なほ、つて
た。これらは、朝鮮を侵略(しやくりやく)し、
す、早(はや)めの、この地境(ちきやう)を
なし、朝鮮人を日本人(にほんじん)と同等(どうてい)とみ
ず、日本(にっぽん)より劣(おと)るもの、考
え、去(こ)れ朝鮮(ちやうせん)歷史(れき)の中にみえ、え
ず日本(にっぽん)に從(したが)ひつけて、た國(くに)である。

とむけに「鮮人」というとほか
に受ける待遇を事として通っ
た。「三つまでは、暗黒、絶
望、そしてそれ以後は希望が
いかに、即ちいかに想い起されま
す」。

A: それは一九三三年、教員八
つの「鮮人」へやまして、以来
ていたのだ。それが二年に
た四回四回、朝鮮独立運動(加
わった)といふ疑いを受けた。
当時大衆の世にいた盧貞録は
本部へ突然連行され、そこで直ち
に拘留されてしまった。

盧貞録は公に独立運動の通
りターの名を自ら承けて通

むが五万九千、兩者を合せて全体の九二%となる。

第百章目が約二万のアメリカ人、それ以下は、一、〇〇〇名単位から二人や一人に至るまで、その国籍は五〇カ国に上つてゐる。端的に云つて在外邦人問題とは、在日朝鮮人問題そのものだ、といつても可い。

ところが朝鮮および中国人は、その形成過程が、他の外国人と本質的に異なることに留意する必要

の役割りについて、周知である。うしろさへは、目と眼のさへではない。日本の南北朝時代に高麗の南方が荒し、倭寇は、その主な発着の場が、米と人であった。秀吉の朝鮮侵略の意も、多くの朝鮮人が拉致された。しかしこれらは、今日日本人を形成する、要諦になっていない。むしろ、

名にすぎず、しかもそのほとんどは留年生であつた。

第一次大戦の戦争損失のなかで、日清資本は朝鮮労働者募集を行はせ、第二次大戦の強行進軍に至るまで、在日朝鮮人の主力は低賃金植民地労働者として、日本労働市場の底辺に組み込まれてきた。ちなみに強制連行がはじ

われは解放の歌りをいって、文字通ひのなれ者で、一國語。それはほゞ四〇万石に達す。一九四年（昭和二）三月、日本政府は、大韓人登録に於ては、在日朝鮮人の四人を五、三名、そのうち帰朝希望者が五、四四〇三人となつてゐた。かくわするに朝鮮かどつて

上の排出しを禁止したため、故郷に生活基盤のない在日朝鮮人帰朝希望者は、今日である。それなれたかは、否である。その後韓国では他化によつて、韓人とは「朝鮮」種から離脱した者は「日本人」となる。在日朝鮮人のものは、敗戦と同時に天皇家化はない。

しかし一口で在日朝鮮人といつて

在日朝鮮人とは何か

(1) われわれが日清戦争勝利すれば、
ななれ、外国に露骨に國權を
は、「韓国」と朝鮮」の二に
に分れてゐる。それで南北
に分れてしまふ。二つの朝鮮
に分れてしまふ。二つの朝鮮
である。それを二つの朝鮮
に編纂する。そのものがわれ
の祖國統一運動である。こゝ
は便宜上、記述上の親を往朝鮮
人にした。

一九八〇年（昭和五五）七月一
日現在の統計によれば、在外國
人七十七万〇〇〇〇〇〇名が在
日朝鮮人は六万四〇〇〇〇〇
に（全体の八五%）なつてゐる。

人の九二%を占める朝鮮系が、
 國人は、アジにたいする差別
 本の歴史と加の産物である
 ことである、具体的を、在
 日朝鮮人について多とことよ
 う。もう二前代にも、日本代
 史における朝鮮半島の發入

在日朝鮮

二九の在日朝鮮人は、朝鮮
 史の産物である。日本領の統
 計によれば、日本が朝鮮を併
 合した前年の一九〇九年、明
 四二には、在日朝鮮人が五〇

とは何か

日本戦後の約六千万圓に、か
る一九九九年（昭和四）には
九十六万の分が、四
年（昭和九）は一九六六、ハ
〇〇名（一〇〇万人）達、
敗戦前はそれほどの差し
てゐる。じつに年間二万名余り
の激増である。

(三)

その一つは日本の植民地支配から
解放されたのはあつたが、先づ
両面によつて南北に分かれ、在
日朝鮮の九八%の出身地であつた
南朝鮮にタリキ軍政布告が下され
た。この二は在日朝鮮人の切

くは、現存するものになつたのか。それは
疑問をうけることになるが、

には二の理由があふ。

一九二六年、朝鮮（現韓国）に生まれる。大阪医科大学、現大阪市立大学、研究科修。文学博士（京大・学）。専攻は朝鮮近代史、思想史。現在、日本と朝鮮の相互理解の促進を旨とする雑誌『吾侪千里』編集委員を務める傍で、大阪市立大学・関西大学講師、非常勤。本学では既に経済学部で「経済史特

殊勝録（近代朝鮮歴史）を「老」担当せられ、今度より、文部省『朝鮮文化』を編輯し、姜在彦（カン・ジェオン）氏と開化（図52、平凡社選定）『朝鮮の開化思想』、崇正書局（図46、海游社）『朝鮮時代の日本紀行（図49以上）朝鮮の社会思想』編輯せられ、近世朝鮮の歴史を主著、朝鮮近代史研究（図45、新書版図57）近世朝鮮の發達思想（図48以上）評論社、『朝鮮の專横（図56）』『植民地期朝鮮の社会抵抗』（図57以上）新選上日本評論社、『朝鮮の專横（図57）と兵禍』未発表。

[illegible]

際には「北朝鮮」ではなく「朝鮮」をなくして「朝鮮半島」として表現することによって、日本が朝鮮半島を「北朝鮮」として認識しているのか、このことは議論されている。日本政府は、一九九七年になつた一九九六年に日韓基本関係正常化に関する協定において「内なる統一」の原則に基づいて、北朝鮮の領土を「朝鮮半島」として表現することによって、北朝鮮を「北朝鮮」として認識しているのか、このことは議論されている。日本政府は、一九九七年になつた一九九六年に日韓基本関係正常化に関する協定において「内なる統一」の原則に基づいて、北朝鮮の領土を「朝鮮半島」として表現することによって、北朝鮮を「北朝鮮」として認識しているのか、このことは議論されている。

新人生存家」に題布される『大
の一九八三年版が発行され
た。

開成書局

開西大学都立問題資料(Ⅳ) 一 〇

『部落問題と大学』

部落問題と大学

開成書局

